

**産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業****九州・沖縄G H25年度 第8回 幹事会会議録**

日時：平成25年11月19日（火）16：30～18：20

場所：福岡工業大学（FIT ホール2階会議室2）

参加大学・参加者（敬称略）：福岡県立大学（小松、岡村、樋口、田上）、西日本工業大学（植木）、九州国際大学（山本、藤野）、佐賀大学（小田）、九州女子短期大学（梶原、澤田、田原）、福岡工業大学（宮本、楠本、川口）【計6校】

司会進行：福岡県立大学 小松 啓子

**【議事】**

1. 学生の成果発表会について
2. グループ会議の検討状況について
3. その他

**1. 学生の成果発表会について**

学修評価グループから、12月21日に開催予定の学生の成果発表会について、発表会の目的および趣旨の再確認と、発表学生に提示する発表会の趣旨および発表ルーブリックについて提案があった。

本発表会では、各大学から参加した学生がそれぞれ活動の内容と活動を通して学んだことを発表し、発表に対しては大学関係者と産業界の評価者が評価を行う形式としており、その際の評価基準（ルーブリック）は、学修評価グループが作成したメタ・ルーブリックにもとづいたものを提示し、同ルーブリックは学生にあらかじめ配布しておくことが確認された。

発表に対する評価は、活動プロセスに立ち会っていない分野に限定して観点を絞り、採点シートを利用して行うこととし、発表終了後、発表した学生グループは発表の評価結果と照らしあわせながら発表に対する自己評価を行うことが提案され、メンバーの確認を得た。さらに、これらの自己評価については、後日評価者が改めて所見をまとめることの案もあり、産業界からの評価者についてはあらかじめこれらの手続きについて説明の必要があるのではないかとの意見が交わされた。ルーブリックおよび採点シートの体裁や表現、優秀学生の選考手順などについても修正意見が出され、メンバーの確認を得た。

また、各大学に学生に配布するルーブリックを送付するにあたって、同ルーブリックを使用して学生指導を行ってもらう旨を説明する必要があるとあり、情報共有を確実にする方法として、例として次回以降の各グループ会議に学修評価グループからメンバーが出席して説明を行ってはどうかなどの意見があった。

最後に、当日の進行について、進行表および当日の役割分担（学修評価グループおよび福岡工業大学で担当）が説明され、メンバーの確認を得た。

**2. グループ会議の検討状況について**

インターンシップグループから、11月14日（木）、福岡工業大学において「産学連携学習会」を開催したことの報告があった。同会では参加企業5社の担当者から、インタ

インターンシップの受け入れ実績と現状、受入れプログラムの内容、受入れによる社員へ及ぼす効果などについて紹介があった後、インターンシップ推進協議会の古賀氏から、同協議会の動向などについて説明があり、これらを受けて参加者で意見交換が行われた。この中で、学生を受け入れることによる社員への効果として「職場の活性化につながる」、「採用活動のヒントが得られる」等があげられた他、意識の低い学生の対応についての方策、企業に対する大学側からのインターンシッププログラムの提示等について活発に意見が交わされ、有意義な会となったとの報告があった。

授業改善グループから、10月29日に山形大学で授業参観を行ったこと、12月4日（水）に予定されている北九州市立大学での授業参観時には企業から参観者を招聘し、ワークショップ形式で意見交換を行うことを計画中であるとの報告があった。

### **3. その他**

特になし。

次回開催日：平成25年12月17日（火） 16：30～ 【於：福岡工業大学】

以上